げんきが だいすき

キンダーブック1 12月号



表紙の絵から

除雪車は道路の雪を取り除くための重機です。前についている回転する刃で削り取った雪を、上の筒から遠くに吹き飛ばすようすは迫力満点です。裏表紙の雪だるまは雪遊びをしている子たちが作って乗せたのでしょうか。除雪車を知っているか、雪が降ったらどんな雪遊びをしたいかなど問いかけてみましょう。

みんなで かたづけ

せいかつ
生活習慣を身につけよう

ねらい 友だちと協力して片づけること、部屋がきれいになると気持ちがよいことを知らせます。



「みーこちゃんたちはたくさんのおもちゃですてきなお城と街を作ったね。どうやって片づけたらいいかな？」と問いかけます。おもちゃ箱についているマークに気づけるようにします。



みーこちゃんたちはおもちゃの種類ごとに自分が片づける物を決めています。自分が何を片づけるか伝え合いながら、みんなで協力できていることを知らせましょう。



みんなで協力したから早く片づけ終わったことや、きれいになって心地よいことを話しましょう。おもちゃが種類ごとに分けてあると、次に遊ぶときにつかいやすいことも伝えます。

おとどけものでーす！

かんさつ
身近な不思議を知ろう



ねらい 宅配便が家に届くしくみを知り、物を運ぶ仕事の必要性に気づかせます。

つかい方のヒント どんな物が宅配便で家に届いたことがあるか聞き、重い物や冷凍品などを届けてもらうと助かることに気づけるようにします。空箱におもちゃや作品を入れて宅配便ごっこをしても楽しいでしょう。

どきどき おたのしみかい

おはなし
想像力を養おう



ねらい お楽しみ会のわくわくする雰囲気に共感しましょう。

つかい方のヒント 「かばせんせいはどんなマジックをしてくれるのかな？」と問いかけてみましょう。同じような箱を作ってマジックを実践すると、不思議さを実感でき、より興味関心が深まります。ほかにもいろいろなマジックに挑戦して楽しみましょう。

「キンダーブック1」を保育にご活用ください！



絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
せいかつ 生活習慣を身につけよう 「みんなでかたづけ」	●おもちゃで遊んだ後はもとの場所に戻す。 ●友だちと声をかけ合い、協力して片づけをする。 ●きれいに片づけることで気持ちよさを感じる。	●棚や箱におもちゃの絵やマークなどを貼り、片づける場所を視覚的にわかりやすくする。 ●おもちゃを種類ごとに片づけることで、次につかうときにわかりやすく、遊びやすいことを知らせる。 ●友だちと協力して片づけることで早く終わることを伝える。 ●保育者自身も、職員室や倉庫などの整理整頓を心がける。	環境 人間関係 言葉
ぎょうじ 季節と行事に親しもう 「おしょうがつ」	●お正月の習慣や伝統に親しむ。 ●「あけましておめでとうございます」とあいさつをする。 ●正月飾りの意味を知り、関心をもつ。	●お正月の習慣（大掃除、正月飾り、おせち料理、初詣など）についてわかりやすく話をする。 ●正月飾りの制作や正月遊びの際には、それぞれの由来や意味を伝え、日本の伝統文化や行事に関心がもてるようにする。	環境 言葉